

東京第4隊機関誌
第47号

月刊

No 47

November
17日
1956

SMILE

責任感を持つて！

近頃のスカウトキングを見て、痛感することは、スカウト全隊に責任感がなくなっていることである。その具体的な例の一二をあげてみると、まづ、ジャンボリー以来、隊の物品の整理が殆んど云々ともよい位に放置されていることがある。つい先日までは面倒だったのだろう。下の食堂の所に置いたままであつた。号々をかけるだけで、塔までもって来た。だが持つて来たので、ひとところにつみあげたまま誰もどうしようとはしない。全くあきれかえったほどのものぐさである。工具も土がつりこいるものもある。キャンプの時には優秀班とな、マリポンをもらった班もあった。だが優秀班はキャンプが終つてからは優秀でもなんでもなくなつてしまつた。果してそれで良いのだろうか？

又他の例をあげてみるならば、つい最近のことがあげられる。

今日の三日、我々東京第四隊では、ハイキングを行うことにしたのであつた。一通間ほど前までキャンプの予定であつたものが急に変更になつたので少しはむりがあつたが、もし水なら、予定してゐた人員も少かつたのであるが、ソが当日ふたをあけてみると、多分信じられない人もゐるだろうが、なんと、三人である。そしてリガーは三人ともやつて来た。とも、その内の一人は定刻をはるかに過ぎてからかきつけきたのであるが、殊まあ、たつた三人でもよいのだ、だがその他のスカウト、ソヤスカウトではない、ただの子供である。その子供達はどうしたのだろう。事前に、あれほど連絡をするようにと云つておつたし、又欠席届は常識である。胸に覚えのあるスカウトは、今日一日、ネッカナイフをはぎしめておける。君達はこの名譽あるネッカナイフをはぎしめたのだ。

安積さんからの便り

先日懐しい我四隊のスマイルが屈
きました。嬉しく拝見、どうも有難
う御座居ました。台湾ジャンボリーに
は四隊から誰か行くのですか？も
し行くんだつたら及ばずながら寄附
位しますよ。本当に考えこみると、
僕等の隊から一人も未だ外回へ代表
として行ってなうなんて不思議だと
思ひます。僕等の態度も両方に好
んでしやうが僕等より一ツ上の連
中秘一人も行きなかつたとは何か已
ら、その中の代表選出のやり方がまず
いのではないかと思われなりました
ん。僕は未年、もし環人でなかつた
ら是非ともギルヴェルに行きたく思
います。そのために英語は大事。入
試共々、一考兩得しようど英語も一
庄懸命やっています。

十月の十九日からサ一日は、日比
谷高校の文化祭であり星陵祭があり
ました。僕は今年も三年。何もやる
まいと思つたのですが、前夜祭の司

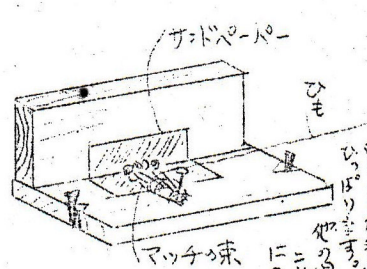
会を頼まれてしまつてキャンパファイア
ーなので結局引受けました。前夜祭
は前でお流れになり、代りに廿一日
に後夜祭としてやりましたが、その
時の話をすると、五時から全員の合
唱練習。五時十五分前祭式、そして
クラブヤルムの出演（歌々踊り）
がありその途中五時半噴火式。とし
て出演団体の出演が終つた後はフー
クダンスがあり、八時半に終りまし
た。殆んど兵火式の事や会場の事は僕が
計画しましたが、兵火式は次のよう
にやりました。当日は何しろ二十人
以上は確実に来ましたので司会役を
僕は大変でした。皆をまず静かに
させました。ライトが全部消えさす
すると運動場おりにくろ階段の上か
にわかには松明があかくなり、そこ
に日枝神社の所長とおつき二人が現
れる。天降火鳴り出し御使の
一行はしずかに輪の中へ入つてきて
二メートル四方の壇に四角につんばま
さの前にはちます。そして、それが
しは比えり山延曆寺に住む。

と云つて呪えをとなく、エイツと云う
とありう不思議、但しもどぼにいな
ソの一人でに火がつかボッと炎が
まよ上りました。大成功！あの時
の嬉しかったこと。てありませんご
した。皆は全く驚いたらしく半信半
疑り模様でした。

燐あかし。

四のような祭りの装置を作つてひまを
ひらばります。ひまは神までなく
他の場所でもひまを
ニルはホイメライフ
にうって、たもです。

この兵火式のおかじで後夜祭は全く
大成功しました。でも二十人以上も
の人を前に司会をしてその人並を動
かしてソくのは大変むずかしい事だ
した。しかしこの標に成功さす事が
出来たのは全く僕のスカウト生活六
年間の賜だと思ひます。幾々興く
ります。お身体に氣をつけて、敬崇



指導者と御面親を結ぶ欄(4)

霜月もはや年ばにいたらんとし、毎
 日寒さのきびしくなるのを覚え、まず
 スカウトリングも此かのけ次才に屋
 内より予が多くなつてまゝ、リマ
 まで先日文化の日ハイキング
 を行ひました。ところが最初、ミ
 ングを予定してありましたところ、登
 合で出来なくなり、やむを得ずハイク
 に変更したのでござります。そのた
 め即父兄への連絡が出来ず大変叩
 びられたことと思ひ深く叩かびら
 します。

ところでこのハイキングをいたし
 ます際に、雨でもやるからもし行くこ
 との出来なくなつた人は必ず連絡を
 しなさい、と云つておいたのですが、当日
 の参加者は三人だけという有様。平
 足しておりましたのは十五人位あつ
 たのでその殆どが無断欠席でした。
 どうか即父兄の方でも連絡をさせる
 ように御願ひいたします。

凡向と雲向

渡辺澄

あと一つで不ニスカウトに
 なるので、今一任懸命に
 剩餘をやつてゐる。何しろ
 一ヶ月間のデータが必要な
 うで根気がいる。ソザヤ
 けてみるは今まで気が附か
 なかった事が随分ある。

致分諸君も知らなかつたの
 で、はなからうか。一寸考
 ると、雲は月の吹く方に流
 て行くように考へる。しかし
 にどうだが、それだけ行の
 雲であつて上層部の雲は
 月の向きとは違つた方に流
 れて行く。時には正反對
 方へ行くこともある。これは
 地球の北半球には強い偏西
 風が吹いてゐるためであ
 る。今高層の雲は西へ東へ
 流るる大気によつて、月とは逆に流る

環るる大気によつて、月とは逆に流る



そしてよく注意してみると、月の向と
 下の方の雲の向きと上の方の雲の向
 きと三つとも違つてゐることがある。
 だから北東の風が吹くからと云つて
 雲もその通りとは限らなりのだ。
 さて強し偏西風のことも、ジェットスト
 ームと呼ぶ。この言葉は、パンアメリカ
 カンの広告に使われ、それから知ら
 てる人もあるだろう。この風は高
 空を非常な速さで吹いてゐるので、飛
 行機がこれにのればとても速くど
 ことが出来る。そして更にその上空
 には逆の方向に吹く強い風がある。
 かつてこの偏西風は日本の軍艦によ
 て、アメリカに自艦爆弾をとばすのに
 使われたこともあつた。

① 来年は四陸四回カ
 ② 十周年。そこで
 ③ 祝会だっぴく
 ④ ニックだのが
 ⑤ 予定されています。
 費用もかかりますので、スカウト
 は一人五百円、三月までにためる事



